

# 歯つらつ

2016年11月

248号

～発行所～

齋藤歯科診療所  
由利本荘市美倉町 47-1  
フシノヨイハニ

0120-24-4182

FAX 0184-24-1440

www.saitoshika.net

～診療時間～

曜日:月曜日～土曜日  
時間:午前 9:00～1:00  
午後 2:00～6:00

～休診日～

日曜・祝日  
第2・4木曜日

10月7、8日と新潟で行わ

れた日本歯周病学会に参加して参りました。今学会のメインテーマは「良質な超高齢化社会をむかえるための歯周病管理」というものでした。このテーマは、昨年の学会のテーマ「健康寿命延伸のための歯周病治療」に引き続いたものだそうです。

今学会の大会長のご挨拶によると、「歯周病は日本人成人の約八割が罹患しているといわれている。生活習慣病ともいえる歯周病の予防・管理においては日常の患者さん自身による予防・管理とともに定期的な歯科受診による積極的な衛生管理が不可欠である。日本は高齢化が進んできており、今後増加するであろう

## 秋期日本歯周病学会に参加して

超高齢者に対する歯周病管理のありかたについての対応も求められている。今回は自立困難な高齢者も含めた歯周病と口腔の管理について、現在と今後の日本の歯科医療の問題について検討する」とありました。

初日の講演の内容としては、「病診連携における歯周治療の役割」というものがありました。

まず、20年以上にわたって歯科大学の附属病院に通院されていた患者さんが、高齢や基礎疾患のため通院できなくなった場合の対応や知識の普及についての発表がありました。

また、がん治療を行う外科医、口腔外科医の立場からの

口腔衛生管理の必要性や地域の歯科医院との連携や、他職種との協同での口腔ケアの必要性を説いた発表もありました。



歯科衛生士シンポジウムでは「お家に行こう！いま求められる食支援」というテーマでの発表がありました。演者は三名でしたが、歯科医師や歯科衛生士のみならず管理栄養士の方も発表されておりました。

高齢者にみられる食の機能低下は一度発症すると負の連

## 休診日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
	11月	1	2	3 休診	4	5
6 休診	7	8	9	10 休診	11	12
13 休診	14	15	16	17	18	19
20 休診	21	22	23 休診	24 休診	25	26
27 休診	28	29	30			

鎖に陥りやすい。徐々に口から食えることが困難になり健康寿命の短縮につながる。こういった問題に歯科は他職種と共にごう対処するか、というお話しました。

私がこの学会に入会してから19年になりますが、時代によって取り上げられる話題は変化していきました。今回の学会に参加して感じたことは、だんだんと歯科医療関係者だけでは歯科医療もままならない。他職種の方たちとの密な連携が求められつつあるということです。

今後も歯科医師には何が求められているのかを学ぶ姿勢を持ち続けたいと思います。

— 院長 —

